

麻布大学同窓会北海道支部総会および懇親会報告

『朝里川温泉に浅利学部長をお招きして』

去る平成23年4月16日～17日にかけて小樽朝里川温泉にて麻布大学同窓会北海道支部総会ならびに懇親会が開催されました。

北海道支部総会は毎年開催されておりますが一年おきに温泉で一泊し親交を深めております。

今年の総会は温泉での開催年であり総勢24名の同窓生が集まりました。初参加の方々が多く、その中でも2年前に動物応用学科卒業した女性の参加もありました。このように若者の参加もある北海道支部はこれからの活性が大いに期待でき、毎年の参加が楽しみになります。

また今年には本校より解剖学第一研究室の浅利教授にお越しいただき、大学での現状やこれからの展望を聞かせていただきました。今年には東日本大震災が発生し、大学でもかなり強い揺れがあり電車通学の学生が全く帰れず獣医学部棟に多数の学生が泊まらざるをえない状況だったとのことでした。

懇親会では浅利教授に教わった方、同年代の方、大先輩の方、様々な年代で昔話や互いの現状報告に花が咲き、楽しいひと時を過ごす事ができました。

現在、小動物獣医療のニーズが高まり、高度医療化が進んでおります、麻布大学はその中心を担い日本の小動物獣医療をリードする大学であります、しかし北海道の獣医療で欠かせないものは産業動物診療です。近年、産業動物診療に従事する獣医師が減り、また希望する学生も減少していると聞きます。今後、産業動物診療を志す学生の育成にも力を注いでいただきたいと要望します。

今年の北海道の話題としましては、日本ハムファイターズに斎藤祐樹投手が入団しました。奇しくも同窓会の開催された4月17日は斎藤投手の初登板の日で同窓会の勢いが伝わったのか、無事に勝ち投手となりました。斎藤投手には日本を代表する北海道のエースに成長して貰いた

いものです。

話は逸れましたが、最後には恒例の万歳三唱にて会を締めくくり、このような交流の場を今後も大切にしていこうと誓い、今回の会を無事終える事ができました。

松井研三（H17年卒）

